

9月21日は世界アルツハイマーデーです



2025年度 世界アルツハイマーデー・月間標語

あなたの地域で 認知症とともに いきいきと暮らす

1994年、国際アルツハイマー病協会は、世界保健機関(WHO)と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定しました。

厚生労働省の推計によると、65歳以上の高齢者の4人に1人は、認知症またはその予備軍といわれています。

認知症の種類で最も多いのがアルツハイマー型認知症で、全体の約5割を占めています。

認知症は、誰もがなる可能性のある「病気」です。認知症になっても安心して暮らしていくためには、認知症を正しく理解することが大切です。

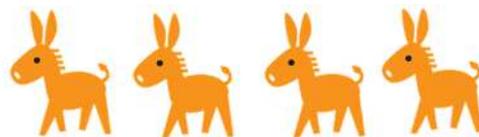
越谷市では、9月を認知症月間とし、様々な取り組みを行っています。ぜひ裏面や市公式HPをご覧ください。

越谷市公式HPへリンクします⇒



【問合せ】

越谷市役所 地域共生部 地域包括ケア課(第二庁舎1階)
電話 : 048-963-9163



認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族をあたたかく見守る応援者です。

誰もが安心してこのまちで暮らしていくために、あなたにもできることは沢山あります。

認知症について正しく知ることから始めてみませんか？

越谷市 認知症サポーター数

55,882人

認知症にやさしい地域づくりが広がっています



※R7.3月末現在

日時	会場	定員	申込み先
9月12日(金) 10:00~11:30	越谷市役所エントランス棟 多目的ホール	40人	8月8日(金)9:00より電話にて下記へ 越谷市地域包括支援センター増林 048-963-3331
9月30日(火) 13:30~15:00	越ヶ谷地区センター・公民館 3階大会議室 (越ヶ谷4-1-1)	40人	9月3日(水)9:00より電話にて下記へ 越谷市地域包括支援センター越ヶ谷 048-966-1851

※地域の団体・企業への出張講座も承りますので、お気軽にご相談ください。



認知症啓発イベント

日時: 9月12日(金)13:30~15:30

場所: 市役所エントランス棟 1階
多目的ホール

参加無料

予約不要

認知症は心配するより、まず知ること

認知症は、誰でもかかる可能性のある脳の病気です。いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが高くなることで、認知機能が低下し、様々な生活のしづらさが取れる状態を招きます。

早く気づくことのメリット

- ①今後の生活の準備をすることができます。
- ②他の認知症や一時的な症状の場合があります。
- ③進行を遅らせることが可能な場合があります。

手配の方法は、簡単なチェック表をしてみましたか？

認知症簡易チェックサイト

- 「これって認知症？」(家族・介護者向け) → 身近な人の状態をチェックできます。
- 「わたしも認知症？」(本人向け) → 自分の状態をチェックできます。

パソコンの場合は、下記URLよりご検索ください。
または、携帯電話・スマートフォンで二次コード対応の
検索を目的とした、独自のQRコードをご利用ください。

<http://fishhowindex.net/koshigayan/>

認知症簡易チェックサイト体験会

携帯電話等を使って、自分自身や身近な人の状態を確認することができます。

ぜひ、この機会と一緒にやってみませんか？
(携帯電話等使用時の通信料は自己負担になります。)

先着 100名



地域包括支援センター職員による「認知症相談会」



先着 100名



口バ隊長を作ってみよう！

ケアマフを編んでみよう



認知症に関する取り組みの展示
朝日生命保険相互会社との連携事業

※認知症に関する取り組みの展示は9/1~9/12の期間市役所エントランス棟1階 みんなの広場で実施しています。